

クレーン車横転事故 作業員6人死傷 「アウトリガー」地面にめり込む

片側は鉄板、片側は、「木材」

2019/12/19(木) 19:15

塩釜市の工事現場で大型クレーン車が横転し、作業員の男性6人が死傷した事故についてです。

実況見分でクレーン車の転倒を防止する「アウトリガー」が地面にめり込んでいたことが分かり、警察などが事故との関係を調べています。

地盤の弱い所での作業はアウトリガーの下に鉄板などを敷くのが一般的だということですが、この現場では片方が鉄板でもう一方は、木材が使用されていたことが捜査関係者への取材で分かっています。

日本クレーン協会によりますと、鉄板などを敷くことで接地面の圧を軽減することができるため、仮に木材を敷いていたのであればその面積と厚さが重要だということです。

ユニック作業時は、

「地盤の確認」、「敷き板」の設置

アウトリガーの張り出し、周囲の安全、「逃げ場」の確保